

顕彰状

具滋烈（ク・ジャヨル）氏は1953年3月2日、大韓民国慶尚南道晋州市に生まれ、1972年にソウル高校を卒業後、高麗大学校経営学科に入学し、1979年に卒業した。その後、1999年にはロンドンビジネススクールを修了した。

1978年にLG商事（現・LX International）に入社し、ニューヨーク、シンガポール、日本など世界各地で約15年にわたり国際ビジネスに従事。1994年にはLG投資証券（現・NH投資証券）国際部門総括役員を務めるなど、グローバルな視点から韓国の経済界を牽引する人材として頭角を現した。

2001年以降、LG電線（現・LS電線）において副社長、CEO、会長を歴任し、北米最大手の電線会社・スーペリアエセックス（SPSX）を買収、LS電線を世界三大電線会社の一角へと成長させた。2013年から約9年間、LSグループ会長として同グループを25カ国・100拠点に展開するグローバル企業へと導くなど、韓国産業の国際競争力強化に大きく貢献した。

2021年には第31代韓国貿易協会会長に就任し、「貿易現場中心の経営」を掲げて規制改革の提案や政府との連携を積極的に推進した。とりわけ、経済界の立場から日韓経済協力に尽力し、「日韓交流特別委員会」の設置、日本の政財界との継続的な対話を通じて、両国の経済的信頼関係の回復にも大きく寄与した。

また、国務総理が委員長を務める国家知識財産委員会の共同委員長や韓国発明振興会会長として、特許制度の整備や知的財産エコシステムの構築に尽力し、韓国の知的基盤の強化にも顕著な業績を残している。民間と政府の橋渡しを担い、未来世代への持続可能な経済環境の構築にも大きく貢献した。

学術・教育・文化芸術分野では、2019年から3年間にわたり高麗大学校校友会第33代会長として、35万人を超える校友の結束を高め、母校支援や後輩育成に力を尽くした。現在は高麗大学校発展委員長としても引き続き貢献を続けており、その功績により2023年には名誉哲学博士号を授与されている。また、2022年から韓国最大のアートフェア「KIAF」の組織委員長を務めるほか、2025年には韓国を代表する大型芸術施設「芸術の殿堂」の理事長に就任するなど、芸術の発展と社会との架け橋としてもその指導力を発揮している。さらに文化・芸術・スポーツの分野における才能ある人材の発掘と支援を通じて、より豊かで価値ある社会の実現を目的に設立された非営利団体である「松崗財団(Song Gang Foundation, ソンガン財団)」理事長や、季刊誌「ボボダム(Bobodam)」の編集主幹として、次世代の文化・芸術・スポーツ人材の育成と社会的発信を継続的に行ってきた。

早稲田大学と高麗大学校は1962年から始まったサッカー定期戦をきっかけに1973年に学術交流協定を締結し、長い間、学術・スポーツ・文化活動分野で交流を深めてきた。2002年には両大学の校友会間でも交流協定が結ばれ、学生・教職員・校友を含む多様なレベルでの交流が継続されている。具氏が高麗大学校校友会会長を務めた時期には、コロナ禍による困難な時期にもかかわらず、高麗大学校校友会として一貫して同校学生の修学継続のための支援を行ったことはもとより、両校の校友会活動の活性化に積極的に取り組み、相互訪問やフォーラム開催などを通じて、両大学の関係強化と日韓間の友好の深化に大きく貢献した。この間の具氏のリーダーシップは、両大学校友会の友好的かつ実質的な関係の構築に大きな刺激を与えている。

以上のように、具氏は韓国の産業界、学術界、文化界の各分野において卓越したリーダーシップと広範な国際的視野をもって貢献し続けている。とりわけ、日韓の政治的な緊張関係の局面においても、日韓の経済協力と人的交流の深化を通じて、地域と世界における相互理解と発展を先導した功績は極めて大きい。そのことは日韓の学術交流と学生交流の確固たる礎ともなっており、本学も大きな恩恵を受けている。

そして、具氏は学術分野への深い理解のもとに、高麗大学校校友会会長として、高麗大学校の教育・研究への貢献、ならびに高麗大学校と早稲田大学の友好関係、および学術交流のさらなる発展に多大な貢献をし、本学の国際化に寄与してきたことは高く評価しうる。

高麗大学校校友会第33代会長・具滋烈氏に本学名誉博士の称号を贈呈することは誠に時宜にかなっているというべきである。

ここに早稲田大学は、具滋烈氏に

名誉博士（Honorary Doctor of Laws）の学位を贈ることとした。

学問の府に栄えあれ！

大学が栄誉を与えんとする者を讃えよ！

(*Vivat universitas scientiarum! Laudate quem universitas honorabit!*)

2025年10月18日

早稲田大学